



## 心身ともにリフレッシュ!

水しぶきを上げてプールではしゃぐ子どもたちの笑顔、声援が響く部活動の各種大会、加えて、例年にない長雨のため夏らしい日差しさえ目にすることがなかった7月が過ぎました。

そのような中でも、市役所の花壇には、マリーゴールド、サルビア、日々草などの花々が咲き誇り、例年と変わりなく人々の目を楽しませています。日照時間が少なかった中でも、いつか来る夏本番に向け、しっかり根を張りすくすくと成長する姿に励まされます。

先の見えないコロナ禍、不安はつきませんが、ときには身近な風景の中で立ち止まり、心に希望とゆとりをもつことが大切なのかもしれません。

今年は8月1日から夏季休業となります。例年より短期間の夏季休業となりますが、心身を十分休めていただき、リフレッシュしていただけたら何よりです。どうぞ有意義な夏休みをお過ごしください。



## 8月の予定



時間のみ記載の研修会の場所は下野市役所です。

市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
2	3 小中一貫の日 (南河内中学区)	4	5 初任者研修 13:30 聖武館・風土記の丘	6	7 パワーアップ 講座 国語 15:00	1 夏季休業 ~8/16 8
9	10 山の日	11 パワーアップ講座 算数 15:00	12 パワーアップ講座 外国語 15:00	13	14	15
16	17 登校開始	18	19 小中一貫の日 (南河内第二中学区 ・国分寺中学校区)	20 定例教育委員会 13:30 栄養教諭・学校栄養職員 研修 14:00	21	22
23	24	25 パワーアップ講座 生活・図工・家庭 17:00	26 定例校長会議 9:00	27 食物アレルギー 対応委員会 15:00 パワーアップ講座 音楽・体育 17:00	28 人権教育研修 15:00	29
30 南河内小中学校 説明会 10:00 南河内公民館	31					

## 教科書採択

## ～中学校用教科用図書・特別支援学級用図書～

7月16日、定例教育委員会において、令和3年度使用の中学校用教科用図書及び特別支援学級用教科用図書が以下のとおり採択されました。先生方におかれましては、教科書センターでの閲覧や、意見書の提出等お世話になりました。

### 【中学校用教科用図書】

国語	株式会社三省堂	音楽(一般)	株式会社教育芸術社
書写	東京書籍株式会社	音楽(器楽合奏)	株式会社教育芸術社
社会(地理的分野)	東京書籍株式会社	保健体育	東京書籍株式会社
社会(歴史的分野)	東京書籍株式会社	技術・家庭(技術分野)	東京書籍株式会社
社会(公民的分野)	東京書籍株式会社	技術・家庭(家庭分野)	東京書籍株式会社
地理	株式会社帝国書院	英語	東京書籍株式会社
数学	東京書籍株式会社	道徳	日本文教出版株式会社
理科	株式会社新興出版社啓林館		

### 【特別支援学級用教科用図書】

小学校	外国語	チャイルド本社	わくわくチャレンジえほん えいごめいろ24
	道徳	日本図書センター	おやくそくえほん はじめての「よのなかルールブック」
中学校	道徳	日本図書センター	もうモヤモヤしない! 気持ちの伝え方



## 「『下野市新聞の日』新聞を楽しむ体験事業」について

今年度より新事業として「『下野市新聞の日』新聞を楽しむ体験事業」が始まります。年間3回設定した「新聞の日」に、児童生徒1人につき1部新聞を配付します。実施に先立ち、7月30日(木)には下野新聞社NIEコーディネーターの川村 滋(かわむら しげる)様をお迎えして新聞活用に関する研修を実施し、各校より多数のご参加をいただきました。

講話では、NIEの歴史や新聞活用の具体的な事例、スクラップづくりの演習も含めながらご指導いただきました。ぜひ校内で広く伝達いただきますようお願いいたします。



### 「『下野市新聞の日』新聞を楽しむ体験事業」概要

目的	新聞への興味・関心を高め、新聞を活用するよさに気付かせることで、社会の情勢に関心をもったり、新聞をはじめとする様々な活字媒体に慣れ親しんだりしようとする態度を養う。
実施日	9月1日(火)、10月20日(火)、1月26日(火)
配布物	下野新聞(子どもタイムズ掲載日)
方法	当日の朝、販売店または新聞社より児童生徒数+学級分の新聞を配布
活用例	教師が記事を選んで読み聞かせをする。朝読の時間に記事を選んで読む。 テーマに沿った内容を探す。(動物、国名、1番大きな数字など夢中になって取り組めるもの) 調べ学習の教材として活用する。お気に入りのコラムを視写したり感想を書いたりする。 家庭学習での活用を図る。等

**まずは、子どもたちが無理なく新聞に慣れ親しむことが大切です。**